

いま、
非認識受検者が
増えています！

えっ！
そうだったの？

肝炎ウイルス検査の結果を正しく伝えていきますか？

肝炎ウイルス検査の

手術前や入院時等には肝炎ウイルス検査を実施し、
検査結果に関わらず、
必ず結果を文書で患者に説明しましょう！

陽性
の場合

適切な肝炎治療
及び経過観察を促し、迅速に
肝疾患専門医療機関※を
紹介しましょう。
※裏面をご覧ください。

陰性
の場合

結果を伝えることで、
不要な肝炎検査の
重複受検を
抑制します。

HBs抗原陽性は、B型肝炎ウイルスに感染していることを示しています。
HCV抗体陽性は、C型肝炎ウイルスに感染している可能性を示しています。HCV抗体が陽性の場合、HCV RNA検査により感染の有無を確認する必要があります。

だからこそ、肝疾患専門の医療機関を紹介しましょう。きっと守れる命があります。



肝疾患相談センター【金沢大学附属病院内】

TEL 076-265-2244

平日 AM9:00 - PM3:00まで

B 型肝炎

肝臓の状態	治療対象	抗ウイルス療法
慢性肝炎	HBV DNA 2,000 IU/ml 以上 かつ ALT 31 U/l 以上	<ul style="list-style-type: none"> ● ペグインターフェロン ● 経口抗ウイルス薬 (ベムリディ®、テノゼット®、 エンテカビルなど)
肝硬変	HBV DNA 陽性	<ul style="list-style-type: none"> ● 経口抗ウイルス薬 (ベムリディ®、テノゼット®、 エンテカビルなど)

B型肝炎治療ガイドライン第4版(日本肝臓学会)より改変

B型肝炎患者の診療、ここがポイント！

- B型肝炎の方で抗ウイルス療法の対象となるのは、**ウイルス量が多くかつ肝障害を認めている方のみ**です。
- いわゆる「無症候性キャリア」の方(ウイルスは検出されるものの肝機能は正常な方)からも**肝がんを発症することがあります**。
- 「無症候性キャリア」の方も、**定期的な肝機能検査と肝画像検査を行う必要があります**。

肝炎患者の診療
ここがポイント！



- 抗ウイルス療法の適応や薬剤の選択には**肝臓専門医の判断が必須**です。
- B型・C型肝炎ウイルスに感染している方は、**年齢・肝機能にかかわらず、全員、肝臓専門医の診察を少なくとも1年に1回は受ける必要があります**。
- 一般に抗ウイルス薬は極めて高額ですが、**公費助成制度**を利用すれば極めて安価に治療を受けることが可能です。

以下の病院は、石川県から肝疾患専門医療機関の指定を受けています。これらの病院への紹介をお勧めします。

● 金沢大学附属病院 (肝疾患診療連携拠点病院)	● 国家公務員共済組合連合会 北陸病院
● 市立輪島病院	● 医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院
● 公立宇出津総合病院	● 独立行政法人地域医療機能推進機構 金沢病院
● 社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	● 公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院
● 公立羽咋病院	● 医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院
● 金沢医科大学病院	● 医療法人社団愛康会 小松ソフィア病院
● 公立松任石川中央病院	● 国民健康保険 小松市民病院
● 独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	● 公立河北中央病院
● 石川県立中央病院	● 特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター
● 金沢市立病院	● 加賀市医療センター
● 金沢赤十字病院	● 公立能登総合病院
● 社会福祉法人恩賜財団済生会 石川県済生会金沢病院	

C 型肝炎

治療回数	慢性肝炎・ 代償性肝硬変	非代償性肝硬変
初回治療	<ul style="list-style-type: none"> ● マヴィレット配合®(8週) ● ハーボニー配合錠®(12週) ● エプクルーサ配合錠® (12週) 	<ul style="list-style-type: none"> ● エプクルーサ 配合錠®(12週)
再治療 (経口薬治療 不成功例)	<ul style="list-style-type: none"> ● マヴィレット配合®(12週) ● エプクルーサ配合錠®+ リバビリリン(24週) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 治療薬なし

C型肝炎治療ガイドライン第8.1版(日本肝臓学会)より改変

C型肝炎患者の診療、ここがポイント！

- 初回治療の場合、**経口の抗ウイルス薬の8～12週投与で、95%以上の確率でウイルスを駆除**できます。
- **ゲノタイプ/セロタイプ1型・2型の場合、どの抗ウイルス薬も使用**できます。
- 適切な薬を選択することで、**様々な合併症をお持ちの方でも安全に治療**できます。
- C型肝炎ウイルスに感染している方は、**全員一度は抗ウイルス療法を考慮**して下さい。
- **ウイルス駆除後も肝がんが発生することが知られています。そのためウイルス駆除後も定期的な肝画像検査が必要です**。